ninoyu satoshi

発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ケイハンシティビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館632号室
TEL.03-3508-8632 FAX.03-5512-2632

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。
題字：栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

平成21年 No.218 9月号

京都の智恵を日本に活かす。

二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

自民党、歴史的大敗で野党に
京都でも1勝5敗の大差

前途多難な自民党の建て直し

8月30日に執行された第45回衆議院総選挙は、民主党の圧倒的勝利、自民党は結党以来の惨敗に終わった。選挙前から厳しい戦いになると思われていたが、ここまで大幅に議席を減らすとは予想外。従来、自民党は農村部を中心に、地方では強いといわれていたが、そんな常識も通用せず、全国的に敗北を重ねた。大臣を経験した大物政治家の相次ぐ落選、派閥のリーダーですら比例復活で議席を確保するといった厳しい選挙であった。京都の各選挙区でも民主党の攻勢に押されっぱなしであった。1区では党幹部の伊吹文明氏が民主新人に2万3000票余りの差で負けた。5区では谷垣氏が若い女性候補に7000票差まで追い上げられた。2、3、4、6区は民主候補に大きく負けた。この結果、京都の国会議員は民主9(衆議院7、参議院2)、自民4(衆議院2、参議院2)となり、京都政界における力関係が逆転した。

今後、知事、京都市長、さらに府下の市町村長選挙をめぐって主導権争いが激しくなることが予想される。

烏丸御池で街頭演説する麻生首相

恒心

★小選挙区制が導入された時からいつかは政権交代があると予想されたが、こんなにも早く実現するとは思ってもみなかった。戦後の一時期を除いて、ほとんどの期間、政権を担ってきた自民党の議員としては、正直なところ、野党になったという実感がまだ湧いてこない。★選挙後始めて上京し、朝早く宿舎から会館へ行く途中、自民党本部の前を通った時、普段なら、車と人でごった返している本部があまりにも閑散としているのに驚いた。それでも朝の8時過ぎだから、その程度かなと一人納得していた。★会館の部屋へ入ると、秘書が「最近ほとんど役所の人が訪ねて来ません。民主党の幹部の先生の部屋には、多くの役人が列をなして待っていますよ」と言ってくれた。廊下に出て見ると、民主党議員の部屋の前に椅子を並べているところもある。★世の習いとは言え、人の気持ちは変り易い。得意な時には人は寄って来る。失意に陥(おちい)ると蜘蛛の子を散らすように逃げて行く。民主主義の下、選挙によって平和裏に政権が交代した。悔しい想いで一杯であるが、その現実を一日も早く受け入れねばならないのだろう。★民主党中心の政権が発足した。マニフェスト(政権公約)に盛り込まれた施策が増税もなしに実現出来るのか。社民党との連立政権でわが国の安全保障政策は大丈夫なのか。補正予算を凍結すれば、地方に混乱をもたらすだけではないのか。いずれ近い将来、自民党の出番がやって来る。自民党は謙虚に反省し、冬の時代にしっかりと足腰を鍛え、来るべき時に備えなければならない。

総選挙後、初の両院議員総会

多くの議員から議論百出

歴史的惨敗を喫した総選挙後、衆議院、参議院議員が集まる初の両院議員総会が９月８日、自民党本部９階の大会議室で行われた。選挙前は400人近くいた国会議員も今や衆議院119、参議院89の208人と激減したが、会議室は用意された椅子も足らないほど超満員、しかも多くの報道陣でごった返して、冷房もほとんど効かない状態で、蒸し風呂のような暑さであった。会議は若林両院議員会長の議長で進行された。先ず初めに、麻生総裁が挨拶に立ち「残念ながら、与党で過半数を取れなかった。今回の厳しい情勢の中で、戦い抜かれた議員を慰労し、多くの有為な方々を落とし、全国の支援者にお詫びしたい。私は、16日に内閣総辞職をした後、自民党総裁を辞任したい。開かれた総裁選挙を実施し、地方の声を十分に聞いてほしい。そして、首班指名に当たっては、党の一致団結を示して欲しい」と述べた。次いで細田幹事長は、「残念ながら敗れた。執行部の責任である。総裁から指名された執行部は辞任を表明しているが、後任体制が出来るまで責任を果たしたい」と総裁選挙を終えた後に退陣すると表明した。最後に野田総裁選挙管理委員長が「新総裁を選ぶ総裁選挙は18日告示、28日に議員投票の投・開票日、党員投票の開票日とする」と発表した。その後、出席議員から、今回の総選挙、総裁選挙に関して様々な厳しい意見が出された。主な意見は次の通りである。

★推薦人20人を10人に減らして、若い人が出やすくするべきだ。★麻生総裁の辞任表明後、直ちに総裁選挙日程を作るべきだった。★保守の勢力を結集出来る人を総裁に選出すべきだ。★落選した支部長にも議員と同じように投票権を与えるべきだ。★今の執行部が新しい執行部を選ぶのはおかしい。★総裁公選規程にこだわるべきではない。★早く再生会議を開き、いかに参議院選挙を戦うかが重要。★足の引っ張り合いをやめて、話し合いをせよ。★首班指名は公的な意思表示、白票では政党の自殺行為である。

党本部での両院議員総会

推薦人の数を減らせ、落選した支部長に投票権を与えよ、二つの動議否決

両院議員総会で①若い人が出やすいように総裁選挙出馬に必要な推薦人の数を20人から10人に減らす、②今回落選した支部長にも現職議員と同様に総裁選挙の投票権を与えよという２つの緊急動議が提出された。両院議員総会は党大会に代わる公式な会合で、多数決によって規則の変更も可能となる。野田選管委員長は両院合わせて200人の議員の１割ぐらいの推薦人は維持したい。落選支部長の選挙権に関しては、これだけ惨敗したのだから、ジタバタしないで、今回は現在の公選規程に則って実施したいと答弁した。その後、挙手によって賛否が問われたが、２つの動議とも賛同者は少数で否決された。

二ノ湯議員、各候補の応援に回る

７月21日、衆議院が解散になって、二ノ湯参議員は自民党京都府支部連合会の選挙対策副本部長に就任した。副本部長として公示前は、自民党の支援団体回り、選挙戦に入ると、１日３箇所の個人演説会の弁士を務め、自民党公認候補の勝利のために活動を続けた。しかし、結果は最悪となってしまった。５区の谷垣禎一氏が選挙区で勝利した以外、１、２、３、４、６区といずれも民主党に敗北した。自民党京都府連は総選挙が迫ってきた５月の連休明け、さらに公示直前に各選挙区の選挙情勢の調査を行った。１、５区を除き、苦戦が予想される非常に厳しい調査結果であった。しかしそのうち、少しは潮目が変わるものと期待をしていた。選挙戦最中、各候補者の関係者に聞いてみると、街往く人がよく手を振ってくれて、非常に反応がいいと言っていた。情勢は徐々に良くなってきたのかと思っていたが、選挙終盤になって、新聞各紙の世論調査が報道され、民主大躍進、自民大幅後退の見出しが踊った。結果は、報道機関の世論調査通りとなってしまった。

谷垣禎一個人演説会

伊吹文明個人演説会

首班指名を巡って意見が分かれる

議院内閣制においては、内閣総理大臣を決める首班指名選挙は非常に大事な意味を持つ。ただ今回の場合、自民党の総裁は不在である。従って、両院議員総会では、誰を首班候補とするのか意見が分かれた。より良い人でいいではないかと言う意見、いや最長老の議員でいいと主張する意見、なぜ白票でいけないのかという意見等、色々出された。16日の首班指名選挙で自民党は両院議員会長の若林正俊参議院議員に投票した。自民党が首班指名選挙で一致結束の姿を見せるだけだったら、総裁でもない、また総理になる可能性がゼロの人に投票するよりも、白紙投票でもいいのではないかと言う意見も多かった。

夏まつり出席の御礼

去る八月五、六日の両日、夏まつりを開催致しましたところ、皆さま方の温かいご協力の御蔭で、盛大に開催することが出来ました。本当に有難うございました。心より感謝申し上げます。来年も引き続き開催を考えておりますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。今なお残暑が厳しい日が続きます。くれぐれもご自愛下さいますようお祈り申し上げ、御礼のご挨拶とさせていただきます。

平成二十一年九月十七日

二ノ湯智・後援会会長　森　春生

参議院議員　二ノ湯　智

私の体験的 地方議員論

二之湯　智
参議院議員

与野党相乗りの京都市議会で市民のために議会活性化に努力

私は、地元京都の前尾繁三郎先生秘書、野中広務先生の後援会事務局長としての活動や、青年会議所の活動を通じて、京都の地盤沈下を痛切に感じていたことから、京都再生の志を抱いて市会議員となりました。

昭和62年に初当選したときの選挙戦のキャッチフレーズは、「これでいいのか、今の京都市！」でした。

当時の京都市議会は「五色豆」といわれたように、自民党から共産党まで慣れ合い状態で、活力を欠き停滞していました。議員歴の長い議員が市議会を支配する「長老支配」がまかり通り、議長は1年交代でした。

そして、市長をはじめとする市の執行部の力が強くなり、市が5年ごとに5カ年計画を策定し、そのための予算や振興計画を立てても、その進捗状況などはきちんと報告されない状況がありました。

私は、市長選が与野党相乗りでも議会は市民の要望を実現するために、執行部に要求すべきは厳しく要求しなければならないと訴え、議長任期を2年にするなど、議会の改革に努めました。私が盛んに「若い議員の意見も取り入れよ」と主張するので、先輩議員から「生意気だ」「議会の秩序が乱れる」などといわれたものです。

5期17年にわたり市会議員を務め、その後半は市会議長、自民党京都府連幹事長などもしました。その間、「建都1200年祭」がありましたが、京都再生はまだ道半ばです。都市基盤整備が遅れ、地下鉄も毎日4500万円の赤字を計上している状態です。

ただ、幸いなことに最近、時代の変化に伴って、京都にフォローの風が吹き始めています。ひところ、京都市から移転する傾向にあった大学が、京都市に戻っています。また、高齢化に伴い、京都、奈良など古い都が再評価される流れがあり、観光産業が上向きになってきたことは、ありがたいことです。

国からのトップダウンに頼らず創意工夫をこらした活性化策を

平成16年に参議院議員になりましたが、国会議員になって感じることは、国政の場は地方行政とは異なり、意思決定がどこでなされているのか、はっきりしないということです。その点、地方は首長に権限が集中しており、意思決定の仕組みが明確です。

半面、首長に対して議員の立場が弱すぎるという面があります。地方議員が住民の要望を実現し、信頼を得るためには、議員活動の透明性を高めると同時に、たとえ与党であっても、首長をはじめとする執行部と緊張関係を保ちながら、反対すべきは反対し、言うべきは言うという姿勢が求められます。

いま、地方活性化のためにさまざまな政策が打ち出されています。しかし、国からのトップダウンに頼っていたのでは、真の活性化は期待できません。地方が創意工夫を凝らした活性化策を出し、それを国がそれぞれの地域の立場を尊重しつつサポートするのが望ましい姿です。

地方も活性化策をコンサルタントに丸投げせずに、自ら真剣に考える必要があります。地方議員の役割、責任は大きいと思います。

京都市会議長時代「平安建都1200年記念事業点火祭」で提灯(ちょうちん)に点火する二之湯智参院議員

(「自由民主」平成21年8月18日号から転載)

面目保った城陽市長選挙 自民推薦橋本氏 3選を果たす

衆議院選挙、市議会議員補欠選挙と重なった城陽市長選挙。現職橋本昭男氏は3選出馬を目指していたが、過去2期に亘って橋本氏を推薦した民主党が、総選挙直前に選挙を有利に戦うために、対抗馬として推薦候補を擁立してきた。自民党は地方行政は全体の市民のために公平、公正に行うことが重要であり、政党の争いを地方自治体に持ち込むべきではないという立場である。過去2回の衆議院選挙の自民、民主の得票を考えると、非常に厳しい選挙になると予想されたが、橋本氏の過去8年間の実績を評価、推薦候補に決めた。8月30日、投開票があり、橋本氏は民主推薦の候補を大きく引き離し、3選した。市議会議員補欠選挙でも自民候補の欠けた議席を、公認候補の太田けんじ氏が回復、自民党京都府連は面目をほどこした。

橋本城陽市長候補の出陣式

来年夏の参院選の公認候補 京都府連 二ノ湯 参院議員に 決定

自民党京都府連は9月10日、選挙対策常任委員会を開き、来年夏に行われる参議院通常選挙の公認候補者を現職の二ノ湯智議員を党本部に上申することを決めた。二ノ湯議員は選対委員会の席上、「5年前、皆様方の力強いご支援をいただき共産党の議席を奪還し、当選することが出来た。5年間力を尽くしてきたが、今後も引き続き、自民党の再建、地方分権の推進、京都の発展のために頑張っていきたい。皆さまのご賛同をお願いしたい」と決意を述べ、出席者の満場一致で京都選挙区の公認候補者として、党本部に上申することが決定された。

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。
毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、
ぜひお申し込み下さい
年間購読料　1200円
郵便振替口座 01000-4-62360
口座名：みんなで政治を考える会

― お問い合わせ先 ―
二ノ湯さとし事務所
電話　075-315-2228

ホームページを開設いたしました
http://www.ninoyusatoshi.com

身辺雑記

一、京都で民主党が1区から6区まで、比例復活を含めて議員が誕生する可能性が非常に高いと演説会で、再三危機を訴えた。しかし、こんなに自民党が惨敗するとは思ってもみなかった。このことが現実となってしまった。

一、民主党がマニフェストで言っていることは、そう簡単に実現できるとは誰も思っていない。それでも民主党に民意が偏ったのはなぜか。自民党も謙虚に静かに反省し、それこそ原点に立ち返って、一から出直さなければならない。

一、落選した議員の秘書も自動的に失業である。京都でも地元で働いていた秘書がたくさんいる。かつて同じ経験があるので頑張る人なら採用してあげたいが、なかなか経済的余裕もない。

一、麻生さんの後継総裁に地元の谷垣禎一氏が立候補の決意を固めた。今後自民党が再び政権を狙おうとするなら、見識があり、人間的魅力があって、しかも豊富な経験の谷垣さんが最もふさわしい。

一、夏の漬物は茄子ときゅうりの糠漬け。青々とした茄子の漬物を食べようと今年の夏、漬物に挑戦したが、上手くいかなかった。それでも毎日、糠を混ぜて、自家製の漬物を食べるのは、最高の贅沢である。

歩くことは健康の基本

第192回 みんなで歩こう湯歩会

・日　　時：**9月27日(日)** 小雨決行
・集合時刻：午前9時（時間厳守）
・集合場所：京阪宇治駅前（宇治橋東詰北側）
・コ ー ス：宇治橋→宇治上神社→興聖寺→宇治川沿い→天ケ瀬ダム（白紅橋）→塔島（宇治公園）→平等院→宇治橋解散

◦今回は宇治方面の名所旧跡と宇治川沿いを歩きます。是非ご参加ください。

（当日）☎090-1956-7460

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会　年会費　1万円

入会申込・お問い合わせ先
二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228